



Vol. 119

CONTENTS

- 【コラム】 中高生情報学研究コンテストと大学入学共通テスト…中山 泰一
 【解説】 中高生情報学研究コンテストの意義と第 3 回の審査の様子…遠山 紗矢香
 【解説】 第 3 回中高生情報学研究コンテストの作品紹介…米田 貴



COLUMN

中高生情報学研究コンテストと 大学入学共通テスト



本会は、第 81 回全国大会より中高生情報学研究コンテストを開催し、中高生に本会のジュニア会員となり情報学の探究活動をすすめてもらうことを目指してきました。本年（2021 年）3 月には、第 3 回中高生情報学研究コンテストを無事に開催することができました。全国から 87 チームの参加があり、中高生研究賞の最優秀賞 1 チーム、優秀賞 2 チーム、奨励賞・初等中等教育委員会委員長賞 2 チーム、奨励賞・情報処理教育委員会委員長賞 1 チーム、奨励賞 16 チーム、入選 23 チームを選出しました。詳細は、今号 394 ページからの遠山紗矢香先生と米田貴先生の解説、および、中高生情報学研究コンテストの Web ページ^{☆1}をご覧ください。

第 3 回中高生情報学研究コンテストは、当初、大阪大学豊中キャンパスで開催を考えていました。ポスターに大阪大学のマスコット「ワニ博士」も登場させました。しかし、新型コロナウイルスの蔓延は収まらず、オンライン開催となりました。一方、オンライン開催であったため、全国からより多くの中高生に参加していただけたともいえます。来年 3 月の第 4 回中高生情報学研究コンテストには、さらに多くの中高生に参加していただきたいと願っています。

さて、情報教育の関連では、本年 3 月に、大学入学共通テストへの情報の出題について大きな動きがありました。前号（2021 年 7 月号）の水野修治先生の解説で述べられているとおり、大学入試センターは 3 月 24 日付「平成 30 年告示高等学校学習指導要領に対応した令和 7 年度大学入学共通テストからの出題教科・科目について」において、2025 年から情報を出題科目とし 1 つの試験時間帯として実施することを公表しました。これを受けて、本会は 3 月 29 日付で「大学入試センターから出された大学入学共通テストの実施方式に対する、当会の賛同表明」を公表しています。

大学入試センターは昨年 11 月に、高等学校関係者、大学関係者に加え、情報にかかわる学術団体に、大学入学共通テストの情報の「試作問題（検討用イメージ）」を情報提供していました。これを受けて、本会のほか、日本教育工学会、教育システム情報学会、人工知能学会、日本産業技術教育学会、8 大学情報系研究科長会議（北海道大学、東北大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学で構成）が賛同を表明していました。

本年 8 月 26 日（木）9：30 から、日本学術会議情報学教育分科会、情報処理学会、電子情報通信学会による、公開シンポジウム「大学入学共通テスト『情報』が目指すもの」を開催することになりました。参加の申込みは、第 20 回情報科学技術フォーラム（FIT2021）の Web サイト^{☆2}にて受け付けます。皆様のご参加をお待ちしております。

☆1 https://www.ipsj.or.jp/event/event_chukousei.html

☆2 <https://www.ipsj.or.jp/event/fit/fit2021/>、公開シンポジウム「大学入学共通テスト『情報』が目指すもの」は無料で参加できます



中山泰一（本会教育担当理事／電気通信大学）（正会員） nakayama@uec.ac.jp

1993 年東京大学大学院工学系研究科情報工学専攻博士課程修了。同年より電気通信大学において、計算機システム、並列分散処理、情報教育の研究に従事。現在、同大学院情報理工学研究科教授。日本学術会議特任連携会員。